

柏市と他自治体との比較分析について

- P.1~2 全国・柏市の人口構成
- P.3~7 他自治体との比較
- P.8~9 柏市の新規認定者の推移
- P.10 まとめ

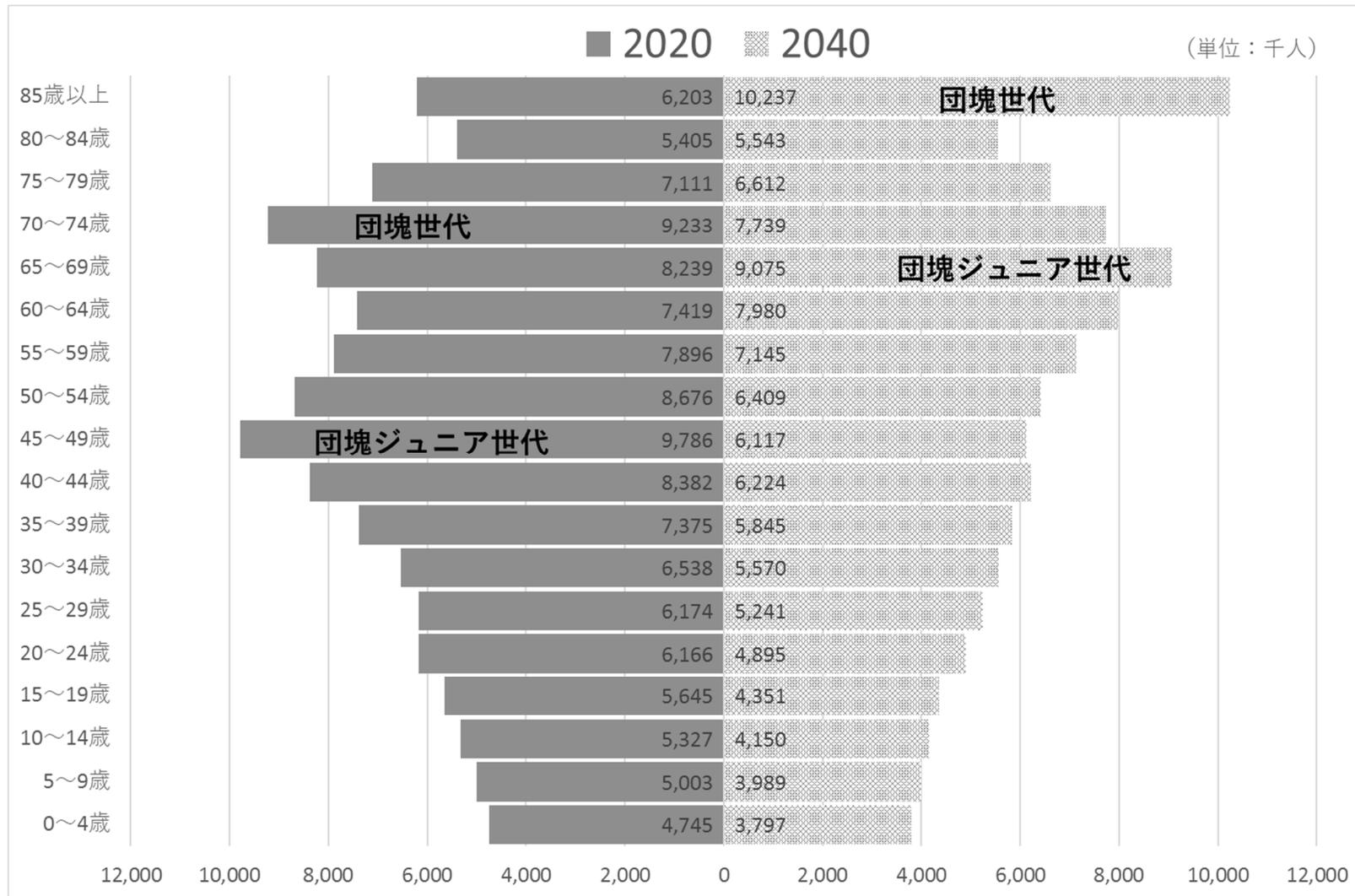
【比較対象とした自治体（12市）】

宇都宮市，川口市，川越市，越谷市，相模原市，高崎市，千葉市，八王子市，藤沢市，船橋市，町田市，松戸市（五十音順）

関東に位置し，人口30～100万人かつ柏市との高齢化率の差が3ポイント以内の市

グラフ内のアルファベットとは順不同

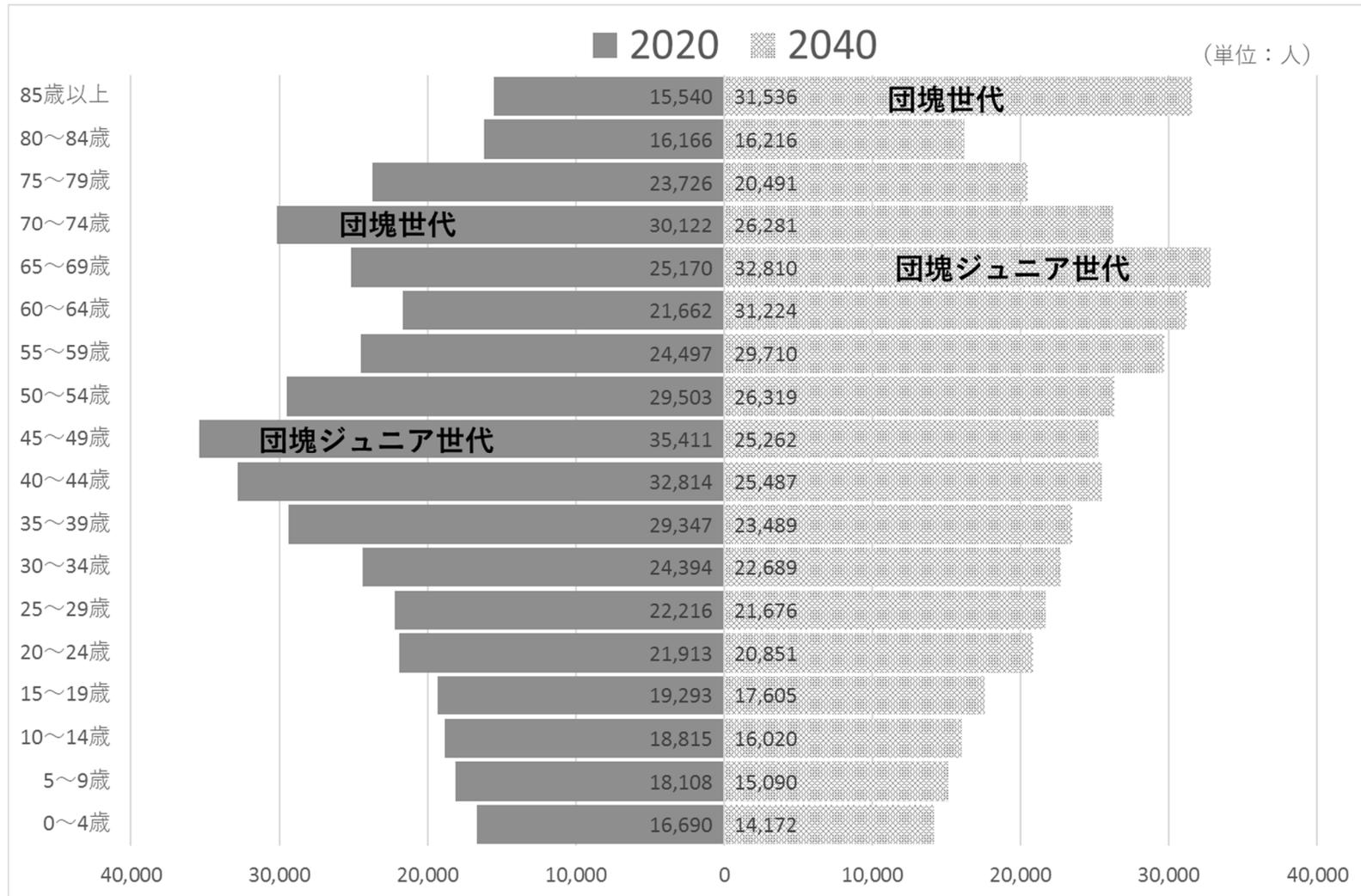
全国の人口構成



(出展) 全国社会保障・人口問題研究所

- 高齢者の高年齢化が進行する。
- 60歳未満のすべての年代の人口が減少する。

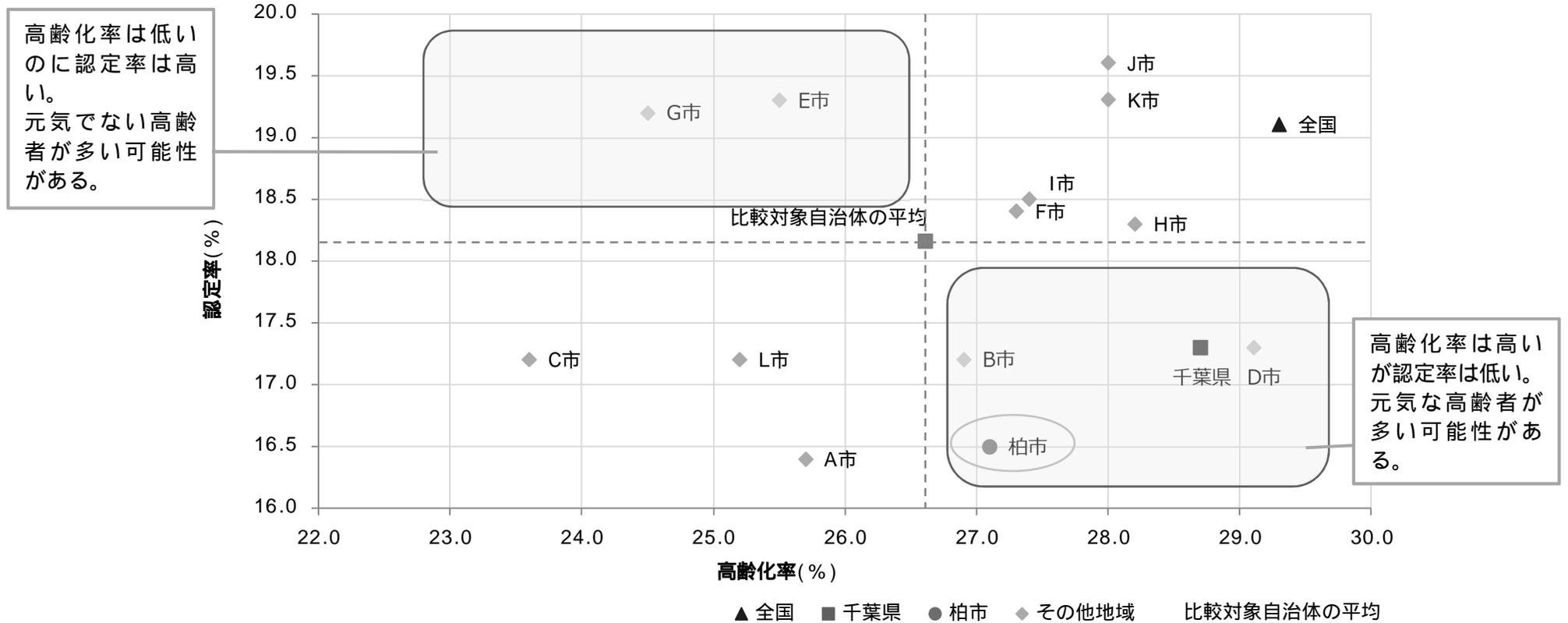
柏市の人口構成



(出展) 柏市将来人口推計

- 全国同様に高齢者の高年齢化が進行する。85歳以上の増加割合が全国よりも大きい。
- 55歳未満のすべての年代の人口が減少する。

認定率と高齢化率の分布



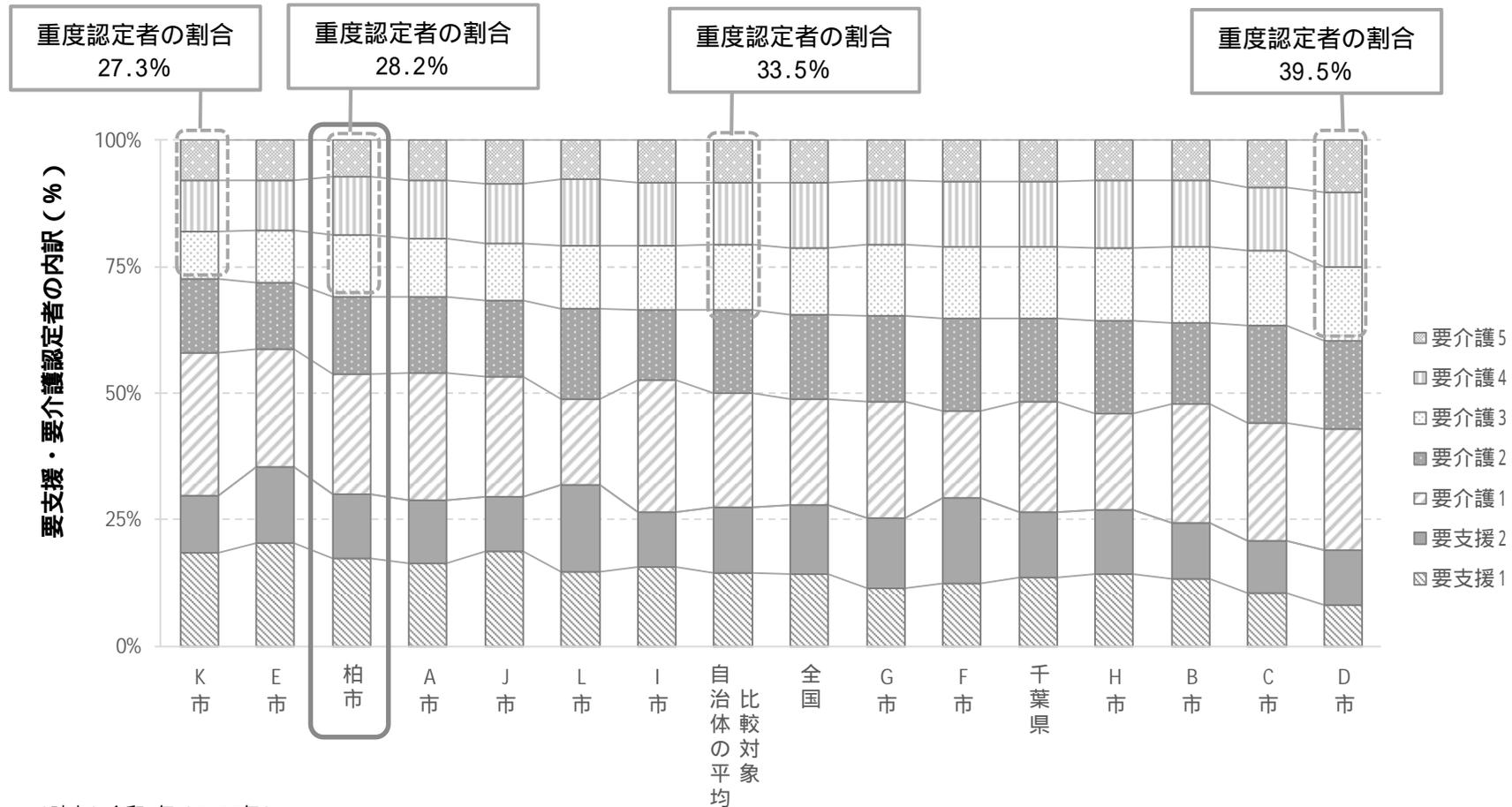
(時点) 令和4年(2022年)

(縦軸の出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報

(横軸の出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

- 全国，千葉県と比べ認定率・高齡化率ともに低い。
- 比較対象自治体の平均と比べると，高齡化率はやや高いが認定率は低く，比較対象としている12市を含む13市の中では2番目に低い。
- 高齡化率は比較的高く認定率は低いいため，元気な高齡者が多い可能性が考えられる。

要支援・要介護認定者の内訳



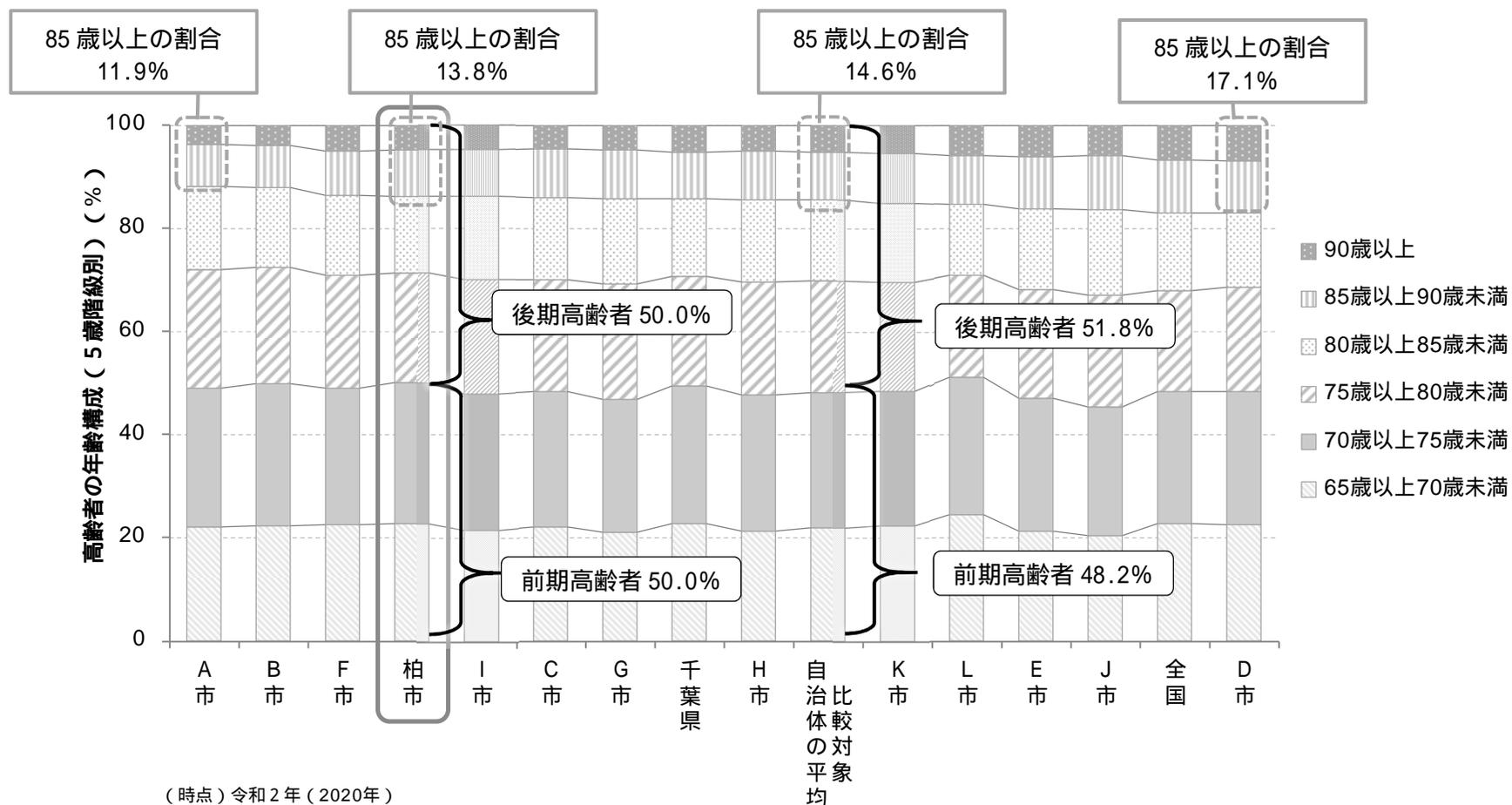
(時点) 令和4年(2022年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

- 全国，千葉県，比較対象自治体の平均と比べると，要支援認定者・軽度認定者の割合がやや多く，重度認定者の割合がやや低い。
- 比較対象自治体 12市を含む 13市の中で，重度認定者の割合は 3番目に低い。

グラフは重度認定者（要介護3以上）の割合が少ない順に並べ替えている。

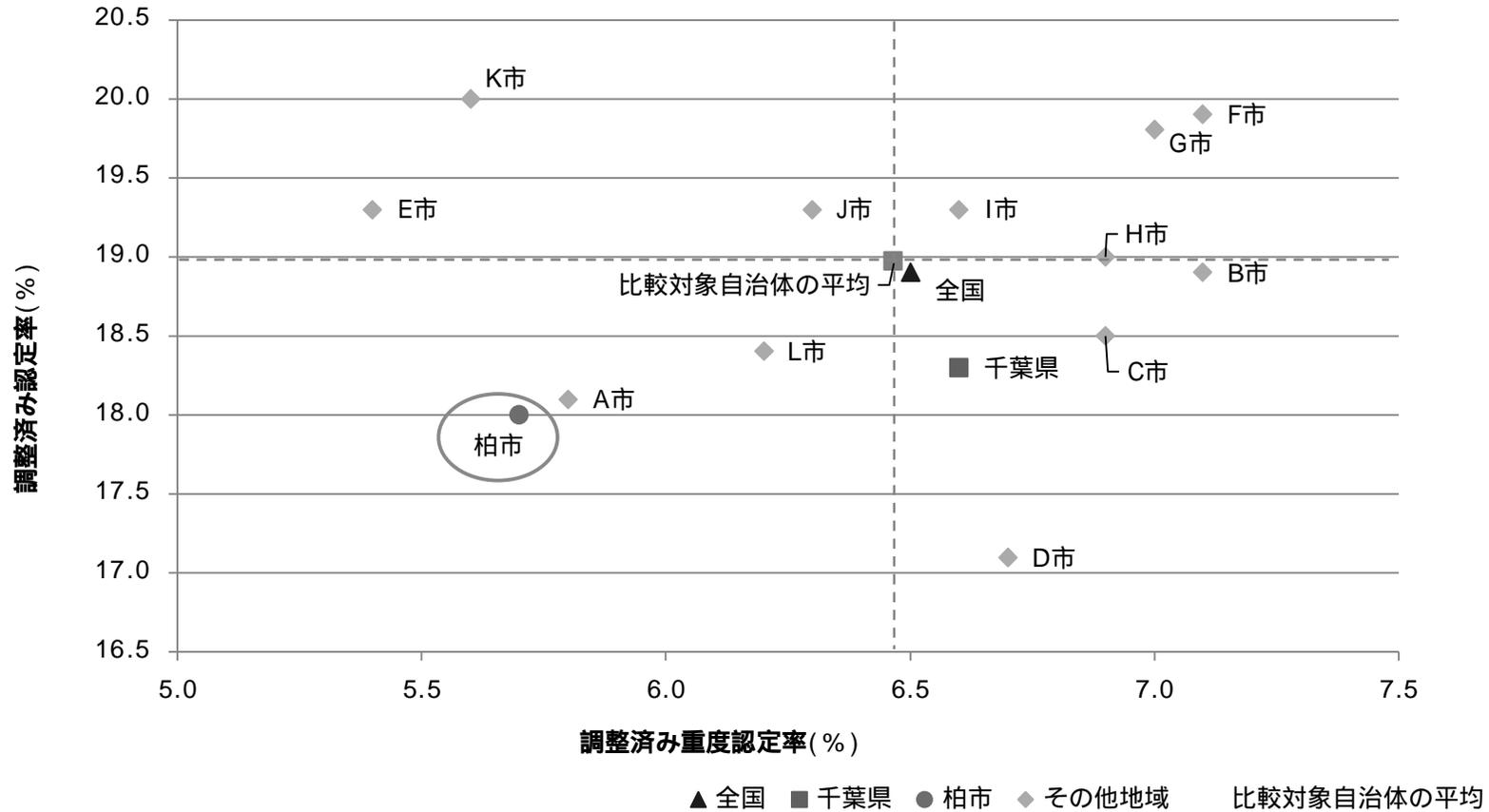
高齢者の年齢構成（5歳階級別）



- 全国，千葉県，比較対象自治体の平均と比べ，85歳以上の割合は低い。
- 現在は後期高齢者が前期高齢者を上回っており，2025年には後期高齢者が60%を超える見込み。

グラフは85歳以上の割合が少ない順に並べ替えている。

調整済み認定率と調整済み重度認定率の分布



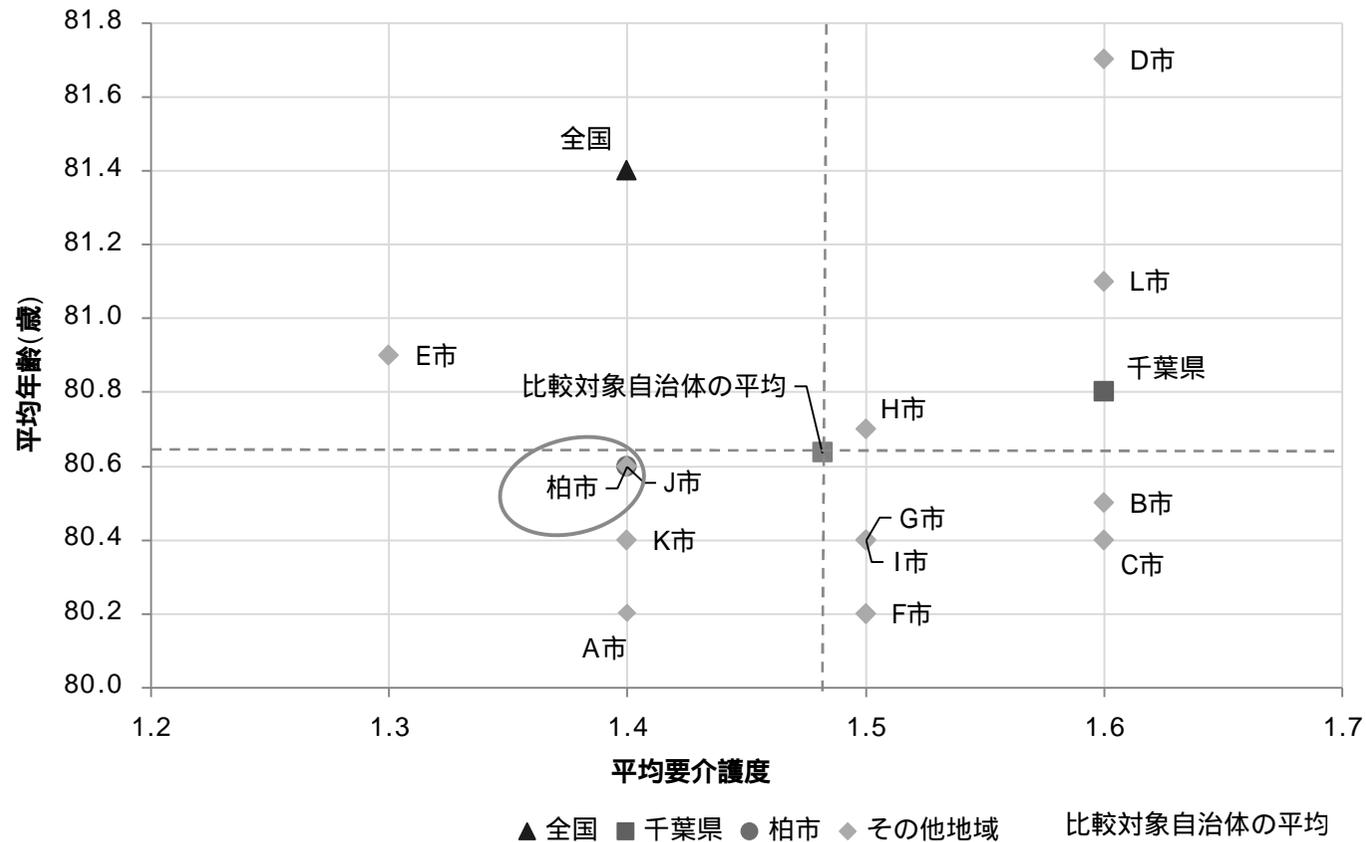
(時点) 令和3年(2021年)

(縦軸の出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

- 柏市では調整済み認定率，調整済み重度認定率ともに，全国，千葉県，比較対象自治体の平均に比べ低い。
- 調整済み認定率が低く調整済み重度認定率が高いD市などでは，年齢構造による影響に関わらず重度認定者が多いため，要介護状態になってからの重度化防止の取組が重要と考えられる。

調整済み認定率とは，認定率の多寡に大きな影響を及ぼす，「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除いた認定率のこと。

新規要支援・要介護認定者の平均年齢と平均要介護度の分布

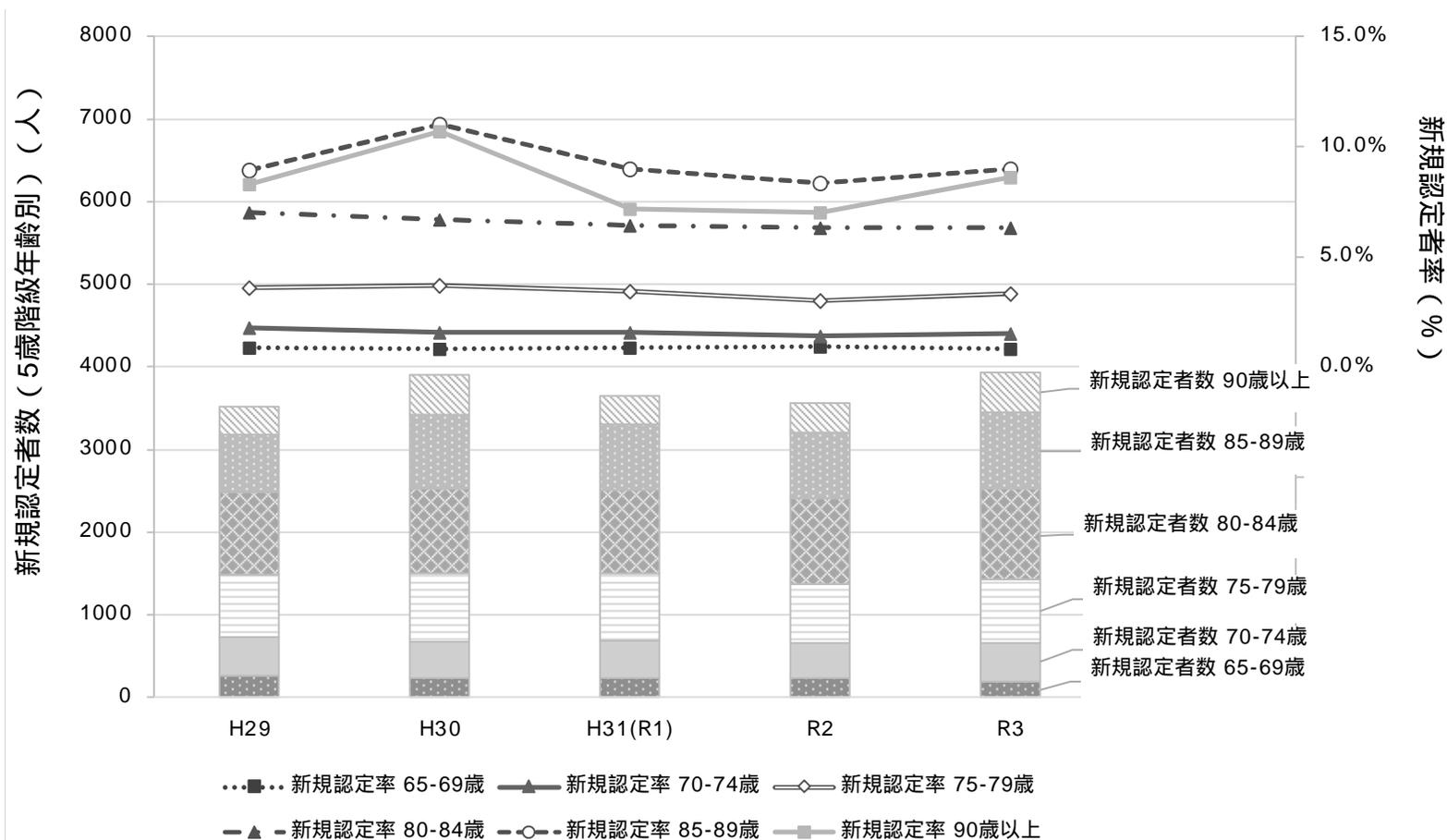


(時点) 令和2年(2020年)

(出典) 厚生労働省「介護保険総合データベース」(令和3年11月10日時点データにて集計)

- 新規認定者の平均要介護度は全国と同程度，平均年齢は比較対象自治体の平均と同程度である。
- 新規認定者の平均要介護度は比較対象自治体の平均や千葉県に比べ低いことから，比較的軽度なうちに認定を受ける傾向があると考えられる。

(参考) 5歳階級別 新規認定者数と新規認定率の推移 (柏市)

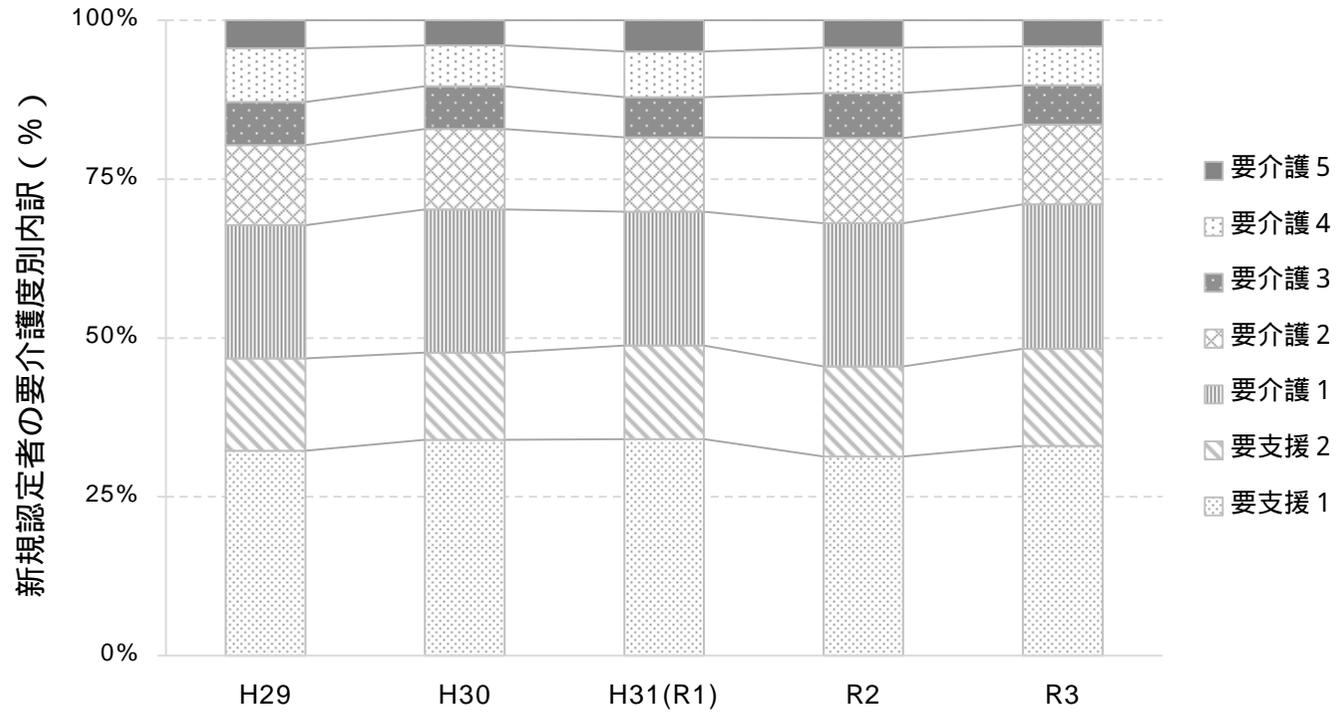


(出典) 柏市介護保険台帳

- 平成30年から令和2年まで新規認定者数は減少傾向にあったが、令和3年には再び増加に転じている。令和元年～令和2年には、新型コロナウイルス感染症の影響による認定控えの可能性もある。
- 5歳階級別の新規認定者率は、79歳未満では5.0%未満であるのに対し、80歳以上では5.0%を超え高くなっている。特に85-89歳では、5年間の平均が9.3%となっている。

新規認定者率は、各年齢階級の人口に占める新規認定者の割合。

(参考) 要介護度別 新規認定者の内訳の推移 (柏市)



(出典) 柏市介護保険台帳

- 新規認定者の内訳では、要支援1～2の認定者が半数近くを占めているが、令和2年には45.5%とやや少ない。
- 要介護3以上の重度認定者は、平成29年～令和2年は17～19.7%であったが、令和3年には16.4%となっている。

【柏市の現状】

- 「 認定率と高齢化率の分布」から高齢化率は比較的高いが、「 高齢者の年齢構成(5 歳階級別)」から 85 歳以上の割合は比較的低いとわかる。若い高齢者が多いことから認定率が低い可能性がある。
- 「 認定率と高齢化率の分布」から認定率が低く、「 要支援・要介護認定者の内訳」から認定者の中でも軽度認定者が多い。認定を受けていても比較的元気な方が多いといえる。
- 「 調整済み認定率と調整済み重度認定率の分布」から、調整済み認定率、調整済み重度認定率ともに低く、若い高齢者が多いという条件に関わらず、元気な高齢者が多いと考えられる。
- 柏市の認定率は「 認定率と高齢化率の分布」では 16.5%、「 調整済み認定率と調整済み重度認定率の分布」では 18.0%となっている。柏市では前期高齢者数が多いことから調整済み認定率の方が高くなっているが、全国よりは低い。

【その他】

- 「 新規要支援・要介護認定者の平均年齢と平均要介護度の分布」から、新規認定者の平均要介護度が低い「柏市、A市、E市、J市、K市」は、「 調整済み認定率と調整済み重度認定率の分布」から、調整済み重度認定率も低い。
- 「 新規要支援・要介護認定者の平均年齢と平均要介護度の分布」から、新規認定者の平均要介護度が高い「B市、C市、D市、L市」は、「 調整済み認定率と調整済み重度認定率の分布」から、調整済み重度認定率も高い傾向がある。
- 「 新規要支援・要介護認定者の平均年齢と平均要介護度の分布」から、新規認定者の平均年齢が高い「D市、E市、H市、L市」は、「 調整済み認定率と調整済み重度認定率の分布」から、調整済み重度認定率はばらつきがある。

【まとめ】

- 「柏市の人口構成」から、高齢者の高年齢化が進行し、要支援・要介護認定者が増加を続けていくことが見込まれる。
- 新規認定者の平均要介護度が低い場合には、重度者の割合の低下につながっていると考えられるため、引き続き予防の取り組みが重要になる。
- 健康寿命の延伸に向けては、重度化防止の観点から、適切なタイミングで介護サービスにつなげていくことも重要になる。